



アイヌタイムズ

第 35 号

2005 年 9 月 30 日 (金) アイヌ語ペンクラブ

アイヌタイムズ第 35 号(2005 年 9 月 30 日発行)からアイヌ語抜粋
著者: 横山裕之

ハワイ イタク アニ アヌイエ ハワイ語で書かれた本 カムピソシ

(アイヌ イタク [アイヌ語])

(日本語)
(ハワイ語)

- 原本の題名 -

小さな人コロポックルの日本の短いお話

He mo 'olelo pōkole Kepanī no ka po 'e li'ili'i 'o Koropokkur

トウブ ウフナク、ハワイ イタク アニ アヌイエ
カムピソシ クヌカラ アクス、コロポックル オル
シペ アン ルウエ ネ。

テエタ アナクネ、アイヌモシリ タ、タン ハワイ
オロウン メネフネ ネノ アン ポン ウタラ オ
カ ルウエ ネ。

この前、ハワイ語の本を読むと、コロポックル
の話がありました。

「古い時代に、日本に、ここハワイのメネフネと
同じく小さな人々が住んでいました。

I ka manawa kahiko, ua noho ka po'e li'ili'i 'o e
like me ka Menehune o Hawai'i nei i Iāpana.

ネ ウタラ アイヌイタク アニ コロポックル セコ
ロレヘ アン ウタラ ネ ルウエ ネ。

その人たちは、アイヌ語でコロポックルという名
の人たちです。

Kapa 'ia lākou 'O Koropokkur. He hua 'ōlelo
Ainu kēia.

"コロポックル" イタキペヘ アナクネ "ポン ウ
タラ" ネ ルウエ ネ。

(コロカ、"コロ-ポク-クル" アナクネ "コロコニ
チヨロポク ウン クル" ネ クニ アヌカラ ルウ
エ ネ。)

『コロポックル』の意味はアイヌ語で『小さい人
たち』という意味です。

[註:しかし、コロポックルは『フキの下にいる
人』であると読めます]

He po'e li'ili'i 'ei 'o ka mana'o o ka hua 'ōlelo.

北海道 セコロ アイェ モシリ タ パテク オカ
ルウェ ネ。

彼らは北海道という島にだけ住んでいました。

Ua noho lākou ma ka mokupuni 'O Hokkaido
wale nō.

シサミタク アニ フキ セコロ アイェ プ (コロコ
ニ) チョロポク タ オカイ ペ ネ ルウェ ネ。

日本語でフキと呼ばれるもの(コロコニ)の下に
住んでいたのです。

Ua noho lākou ma lalo o kekahi mea ulu i kapa
'ia 'o fuki ma ka 'ōlelo Kepanī.

コロハム アプトキクンペ コラチ アン ペ ネ
ワ、シポロ プ ネ ヤク アイェ。

フキの葉は傘のようなもので、とても大きいも
のだといいます。

Weliweli ka nui o ka lau e like me ka nui o ka
māmalu.

ネ ウタラ イカスイ ルスイ ペ ネ。

その人たちはアイヌの人たちの手助けをした
がるのです。

Makemake lākou e hana, a ua kōkua nō ho 'i
lākou i ka po'e Ainu.

クス、アイヌ ウタラ アナクネ、ヤイライケ コ
ロ、モコロ エトコ タ コロハム カ タ ケラアン
ペ アヌ ルウェ ネ。

そのため、アイヌの人たちは、感謝しながら、
眠る前にフキの上においしいものを置きまし
た。」

No laila, ua kau iho ke Ainu i nā mea 'ono i luna
o ka lau fuki ma mua o ko lākou hiamoe 'ana no
ka po'e li'ili'i 'o a mahalo iā lākou.

セコロ アヌイエ ワ アン ペ ネ コロカ、ハワ
イ ウエペケレ "メネフネ" ネノ アン オルシ
ペ ネ クニ アラム ウシケ カ アン ペ ネ ル
ウェ ネ。

と書かれていますが、グリム童話「小人のくつ
屋」と似たような話だと思われる所もあ
るのです。

アイヌ ウエペケレ アナク ポンノ シンナ
ン。

アイヌの昔話は少し違います。

ケラマン ペ アナク エネ アン ヒ;

私が知っているのは以下の通りです;

"コロポックル ヌイナク コロ アイヌ チセ オロ
タ チェプ アヌ ワ アラパ プ ネ ア コロカ、シ
ネ アン ト タ アイヌ オロワ テケヘ アキシ
マ ワ カトウフ アヌカラ クス、イケスイ ワ イ
サム ルウェ ネ。" セコロ アン オルシペ ネノ
アン ペ ネ ルウェ ネ。

「コロポックルは隠れて人間の家に魚を置いて
いくのですが、ある日人間に手を捕まれて姿を
見られたので、怒り去ってしまいました」という
話のようなものです。

a-, i-, u-, e-, o- は、マクロンという直線が付いたラテン文字で成り立っている。マクロンは、もともと母音の上に位置します。ハワイ語の中では、長母音に用いられる。このマクロンは、ハワイ語で「カハコー」と言われます。

メネフネ: 夜に湖や道や聖域などを作るために夜に働く伝説上の種族、小人族。

ハワイ語の部分は、次の方から引用: 庄司 香久子、エミリー・A. ホーキンス、ハワイ語入門、泰流社、1990年、115ページ

アイヌタイムズをご購入していただける方がお知り合いでいらっしゃいましたら、お声をかけていただけると大変うれしく思います。

購読連絡先: 〒055-0101 北海道平取町二風谷 80-25 萱野志朗(宛)
購読料: 1500 円 (4 号ごと／アイヌ語版のみ)
2300 円(4 号ごと／アイヌ語版と日本語版)

読者からの投稿募集:

(連絡先): 〒047-0033

浜田隆史(宛)

北海道小樽市富岡 1-32-136

電子メール: otarunay@yahoo.co.jp

ウェブページ: <https://otarunay.at-ninja.jp/taimuzu.html>

注)アイヌタイムズの著作権は、アイヌ語ペンクラブにあります。

注)1. 赤字は、アイヌ語です。

2. 赤字のイタリック文字は、主に日本語由来のアイヌ語外来語です。

3. 紫字は、ハワイ語です。